

Christmas Light

クリスマス・ライト

ときのかえ
クリスマス特集号 2019



The Salvation Army
<http://www.salvationarmy.or.jp>

もくじ

見返し

世界を変えたクリスマス
……聖書を読んでみませんか？

p. 1
もくじ

p. 2

クリスマス・メッセージ
グッド・ニュースです。
さあ、シェアしましょう！
第21代救世軍大将 ブライアン・ペドル

p. 3

クリスマス・メッセージ
あなたへのプレゼント
司令官 ケネス・メイナー

p. 4、5

特別編集
あなたをこの目で見るとは……
横田早紀江さん

p. 6～8

インタビュー
神様の創られた
花の力はすごいです！
間室照雄さん、伸子さん夫妻

p. 9

クリスマス・ストーリー
1番の明かり見つけた！
絵・文 リエン・ラボシエール

p. 10

レポート
The Warm Heart of Africa
アフリカの温かい心—マラウイの救世軍
『ときのこえ』編集人 寺澤 眞由子

p. 11

社会鍋
第4回救世軍社会鍋俳句コンテスト

p. 12、13

救世軍とは？
小隊（教会にあたる）・社会福祉施設・病院・
その他施設

裏表紙 社会鍋による支援の写真



ハンギングバスケット 間室伸子作

ことば
言の内に命があった。
命は人間を照らす光であった。
光は暗闇くらやみの中で輝いている。
暗闇は光を理解しなかった。
ヨハネによる福音書1章4、5節

Christmas Light

ときのこえ クリスマス特集号 2019

世界を変えたクリスマス……聖書を読んでみませんか？

クリスマスは、なぜこれほどまでに世界中に広がったのでしょうか？ それは、イエス・キリストの誕生を祝うクリスマスに、人々を変化させる力があるからではないでしょうか。

神の子イエスの誕生は、年若いマリアという未婚の女性の人生を変えました。天使によって告げられた、神の霊—聖霊による受胎は、神の求めに従う人生の祝福と力強さをマリアに与えました。（ルカによる福音書1章26～38節）

婚約者のマリアが妊娠したことを知ったヨセフは、夢に現れた天使のとりなしの言葉によって、正しさゆえにかたくなだった心が、すべての苦労や現実を受け止める柔軟な心に変えられました。（マタイによる福音書1章18～25節）

生まれた環境や仕事のゆえに見下げられていた羊飼いたちは、天使によって「救い主ぬしの誕生」を最初に知らされ、「喜ばしいニュース」を伝えるという榮譽ある働きをし、2000年経った今もその働きが語り伝えられる者に変えられました。（ルカによる福音書2章8～20節）

そして、クリスマスの主役である、「救い主」「神の独り子」イエスは、人の宿る場所ではない、家畜小屋でお生まれになりました。神でありながら、仮の宿とも言えない場所でお生まれになったイエスによって、たとえどのような場所で生まれこようとも、すべての命が神の前に尊いものであるという価値の転換がもたらされました。（ルカによる福音書2章1～7節）

イエスの誕生を祝いに訪れた学者たちは、あらゆる知識に秀でて人々でしたが、研究の中で、拝むべき方がおられることを見いだしました。人には、知識を超えてあがめるべきものがあることを教えてくれます。（マタイによる福音書2章1～12節）

やがて、成長したイエスは、貧しい人々、虐げられている人々に神の国の祝福を告げ知らせました。そして、すべての人々の罪の身代わりとして十字架に架けられ、死んでくださいました。しかし、3日目に死に打ち勝たれて、復活されたのです。イエスは、生ける永遠の存在としてわたしたちと共にいてくださることを、神の霊—聖霊がわたしたちに教えてくださいます。

わたしたちは、神の前に自らの罪を知り、それらを捨て去ることを願うなら、イエスの十字架の死によって、赦されます。イエスを救い主として信じ、その永遠の存在と共に生きる時、わたしたちの人生もまったく新しいものへと変えられるのです。

この約2000年の間、イエスを救い主と信じた多くの人々が、この世界をより良いものへと変えようと生きてきたのでした。今、あなたも、このイエスを救い主として信じ、イエスと共に生きるなら、あなた自身とあなたの生きる世界に変化をもたらすことができます。

あなたの心に、本当のクリスマスの喜びが届きますように。



クリスマス・メッセージ グッド・ニュースです。

さあシェアしましょう！



大将 ブライアン・ペドル



その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子こどもについて、天使が話してくれたことを人々に知らせた。
(聖書・ルカによる福音書2章17節)

す ばらしい経験をする
と、わたしたちは話
さないでいられません。
それは、思いに残る食事
良書、素敵な映画、美しい
音楽、感動的な演劇や美し
い田園風景かもしれません。
どのような経験でも、わ
たしたちは、すばらしいこ
とを他の人に話したいもの
です。これは、ぜひシェア
(分かち合うこと) しよう！
と。良い知らせーグッド・
ニュースは、ぜひ分かち合
いたいものです。

イ エス様の誕生は、空
に現れた、明るく輝
く新しい星を通して伝えら
れました。また、天使の合
唱団が、突然空に現れて歌
いだし、そのすばらしいニ
ュースを公表しました。
いつもどおりの夜に、い
つもとどおりの丘で羊たち
の世話をしていた羊飼いた
ち。突然空が明るく照らさ
れ、この上ないほど驚くべ
きニュースを、実に劇的な
方法で聞いたのでした。一
人の天使が、羊飼いたちに
メッセージを伝えるために
現れました(ルカによる福音
書2章9〜12節)。その内容
は、実に詳細なものでした。
天使は、イエス様が、どの

丘 家畜小屋での経験と、
あまりに強烈だったので、
羊飼いたちは、そのことを
他の人々に伝えずにはいら
れません。そのニ
ュースが、喜びにあふれるも
の、非常にすばらしいもの
だったので、自分たちの心
の中だけに収めることができ
なかつたのです。イエス
様についてのニュースは、
混乱の中にあつた世界の暗

ま るで、野火ひのよう
に広がりました。それは、
ある高齢の町会議員による
一つの決断でした。クリス
マスの朝に町役場で、町の
子どもたち全員にプレゼン
トを渡すことを約束した、
というものです。エドワー
ドは、ちよつと信じられな
いな、と思ひました。それ
でも、ワクワクする気もち
を抑えることができませ
んでした。

こ のメッセージをお読
みになつてみるみな
さん、救世軍の信徒、救世
軍の施設等で働いている方
方、ボランティアや、救世
軍を支援してくださつてい
る友人のみなさん、わたし
は、今年のクリスマス、み
なさんが、改めてこの良い
知らせー福音への確信を新
たにするよう呼びかけます。
♪ プテスマのヨハネは、
♪ 神の前に悔い改める
ようにと人々に説き、イエ
ス様がわたしたちに躰からだれる
道を備えました。神様は、
この世界を救うために、神
の独り子イエス様をこの世
界に送ってくださいました。
そして、イエス様は、弟子
たちを人々のもとに遣わし
て、福音ーグッド・ニュー
スを説き、奇跡をおこない、
新たな弟子をつくつていか
れました。ペンテコステの
日、聖霊は、弟子たちが数
多くの言語で福音を分かち
合うことができるようにし
てくださり、救い主の物語

クリスマス・メッセージ

あなたへのプレゼント

ケネス・メイナー



そ の小さな町の人々は、
しばらく経済的に厳
しい中におかれていました。
国の経済状態は落ち込み、
町の経済はさらに深刻でし
た。経営者たちは店をたた
み、ある人々は新天地を求
めて移転しました。それも
できない状態の人々も多く
あり、希望を失い、もう二
度と立ち直れないと考える
人も大勢いました。

あ 一つの夢を見ました。
それは、家族全員、そして、
町中の人々がそれぞれに
プレゼントを受け取る夢で
した。その夢がとて鮮明
だったので、目を覚ました
エドワードは、家の入口に
走って行きました。自分の
名前が書かれているプレゼ
ントの包みがあるのではな
いかと思つたのです。何度
もあちこち探しましたが、
何もありませんでした。
と、ほとほと学校に向かう
と、エドワードは、友達や
先生が大声で笑つたり、あ
る子は泣いたり、満面の笑
顔の子もいるのに気づきま
した。
どうしたんだらう？

ま 町中にニュースが広
がっていました。それは、
ある高齢の町会議員による
一つの決断でした。クリス
マスの朝に町役場で、町の
子どもたち全員にプレゼン
トを渡すことを約束した、
というものです。エドワー
ドは、ちよつと信じられな
いな、と思ひました。それ
でも、ワクワクする気もち
を抑えることができませ
んでした。

こ のメッセージをお読
みになつてみるみな
さん、救世軍の信徒、救世
軍の施設等で働いている方
方、ボランティアや、救世
軍を支援してくださつてい
る友人のみなさん、わたし
は、今年のクリスマス、み
なさんが、改めてこの良い
知らせー福音への確信を新
たにするよう呼びかけます。
♪ プテスマのヨハネは、
♪ 神の前に悔い改める
ようにと人々に説き、イエ
ス様がわたしたちに躰からだれる
道を備えました。神様は、
この世界を救うために、神
の独り子イエス様をこの世
界に送ってくださいました。
そして、イエス様は、弟子
たちを人々のもとに遣わし
て、福音ーグッド・ニュー
スを説き、奇跡をおこない、
新たな弟子をつくつていか
れました。ペンテコステの
日、聖霊は、弟子たちが数
多くの言語で福音を分かち
合うことができるようにし
てくださり、救い主の物語

ク リスマスはもう数日
後でした。明るく、
喜びにあふれるクリスマス
は、町の誰の目にも不可能
に見えていました。
あ 一つの夢を見ました。
それは、家族全員、そして、
町中の人々がそれぞれに
プレゼントを受け取る夢で
した。その夢がとて鮮明
だったので、目を覚ました
エドワードは、家の入口に
走って行きました。自分の
名前が書かれているプレゼ
ントの包みがあるのではな
いかと思つたのです。何度
もあちこち探しましたが、
何もありませんでした。
と、ほとほと学校に向かう
と、エドワードは、友達や
先生が大声で笑つたり、あ
る子は泣いたり、満面の笑
顔の子もいるのに気づきま
した。
どうしたんだらう？

こ のメッセージをお読
みになつてみるみな
さん、救世軍の信徒、救世
軍の施設等で働いている方
方、ボランティアや、救世
軍を支援してくださつてい
る友人のみなさん、わたし
は、今年のクリスマス、み
なさんが、改めてこの良い
知らせー福音への確信を新
たにするよう呼びかけます。
♪ プテスマのヨハネは、
♪ 神の前に悔い改める
ようにと人々に説き、イエ
ス様がわたしたちに躰からだれる
道を備えました。神様は、
この世界を救うために、神
の独り子イエス様をこの世
界に送ってくださいました。
そして、イエス様は、弟子
たちを人々のもとに遣わし
て、福音ーグッド・ニュー
スを説き、奇跡をおこない、
新たな弟子をつくつていか
れました。ペンテコステの
日、聖霊は、弟子たちが数
多くの言語で福音を分かち
合うことができるようにし
てくださり、救い主の物語

エ ドワードは、がつか
りして、急に、そこ
が寒いことと心が空っぽに
なるのがわかりました。周
りでは、彼の家族や友達が
嬉しそうにしていました。
泣いているのを見られたく
ないので、その場から走つ
て逃げようと思つた瞬間、
声が聞こえました。
「ちよつと待つて！ も
う一つありました！」
町会議員は、一つの包みが
そりにあるのを取り上げて、
名前を読み上げました。
「エド・ワ・ード」
忘れられてはいませんでし
た。ちゃんと覚えられてい
たのです。
こ のクリスマス、あな
たには、希望や喜び
がないかもしれせん。だ
れからも忘れられた、どう
でもいい存在なのだ、と。
クリスマスは、この世界の意
味は、この世界を創られた神
様が、わたしたち一人ひと
りを包み込むように、深い
愛で愛していただくことに
あります。神様は、わたした
ちそれぞれの名前を呼んでく
ださり、神の独り子イエス様
を知ることによつて、神様
からの愛と平安と救しを受
け取るように、と招いてく
ださつてくださるのです。
ク リスマスの本当の意
味は、この愛にあり
ます。神様は、道を一神様
と永遠に共に生きることの
できる唯一の道を与えてく
ださいました。神様は、独
り子をわたしたちの罪の身
代わりとして罰しました。
イエス様の犠牲による無償
の愛をわたしたちが受け取
るときに、そのあらゆる罪
はすべて赦ゆるされます。
「しかし、わたしたち
がまだ罪人であつたとき、
キリストがわたしたちの
ために死んでくださった
ことにより、神はわたし
たちに対する愛を示され
ました。」(ローマの信徒へ
の手紙5章8節)
神 様はあなたの名前を
呼んでおられます。
どうぞ、心を開いて、神様
からの贈り物を受け取つて
くださいますように。
(救世軍士官(伝道者)司令官)



第21代救世軍大将
ブライアン・ペドル プロフィール
救世軍最高指導者。カナダ出身。
1977年に救世軍士官(伝道者)となり、母
国で奉仕後、ニュージールランド・フィジー及び
トンガ軍国(当時)、英国及びアイルランド軍
国で奉仕。カナダ・バミューダ軍国司令官、
万国本営(国際本部)米国・カリブ地域担当
万国書記官、参謀総長を経て、2018年8
月より大将に就任、現在に至る。



特別編集

あなたをこの目で見るまでは

横田 早紀江さん

※この記事中の聖書は、すべて新改訳聖書の表記を用いています。

一九七七（昭和五十二）年十一月十五日夕刻、中学校での部活を終えて帰宅していた中学一年生の少女が、自宅を目前に忽然と消息を絶ちました。十月に十三歳になったばかりの横田めぐみさん。その日から、めぐみさんのご両親―滋さん、早紀江さん、そして二人の弟さんの生活は一変しました。

絶望の中で出会った神様の存在は、失踪の二十年後に明らかになった衝撃的な現実と、その後の世論を動かすこととなる救出活動の中、早紀江さんを支え続けてきました。早紀江さんの信仰の記録です。

―明るい声は突然消えた

その日、部活からの帰りが遅いめぐみを、数日前にバドミントン部の強化選手に選ばれたことを悩んでいたのにも、などと心に思いながら、お友達、顧問の先生、夫、そして警察、と連絡を取りつつ、真つ暗になった新潟の海岸沿いの町で探し回りました。懐中電灯を手に、海岸近くに停まった車中の人に声をかけ、娘の手掛かりを求めて必死で



広島にて。通りかかった方に撮っていた貴重な家族写真。めぐみ8歳



東京・品川に住んでいたころ。めぐみ4歳（滋さん撮影）



著書『愛は、あきらめない』（写真・いのちのことば社〈フォレストブックス〉）、『めぐみ、お母さんがきつと助けてあげる』（草思社）、他

―絶望の淵で出合った聖書
いつもめぐみが座っていた席にはめぐみがない。夫も私も時間を見つけては海岸や少し離れた所にも娘を探しに出かけました。「自分はまだ生きていて意味がない。一生懸命尽くして育てても、こんなむごい仕打ちを受けるなら死んだほうがまし。」そんな気持ちで絶叫しながら海岸を捜し回りました。どこかで絶対に生きていてと信じて、希望をつないでいても、黒雲は常に心のうちに湧き起こります。

―祈りによって支えられて
ふたごの弟が生まれたとき、めぐみは「ミイちゃん」ところには赤ちゃんが二人もきたんだよ！」と大きな声で近所に言いまわっていたそうです。夫が写真を撮ることが好きだったので、たくさん写真を見ていると、今も、その香りまでが昨日のように感じられます。私たちは、本当に、ごく普通に生活していたのです。

絶望の中で信仰をもって以来「神様、もしめぐみが生きていたのでしたら、今、そのいるところで、めぐみの命と魂と健康をあらゆる危害からお守りください」と祈り続けていました。忍耐に耐え、重ねて、ようやくこらえ性のような覚悟ができた時、拉致の事実を知ったのです。

考えられないようなことが次々と起きました。動揺することの連続です。けれども「ここでへこたれてはいけません」と毅然とした態度でいることが大切であると思ってきました。もともと私はそんなに強い人間ではないし、人前になるのも苦手なのです。しかし、いろいろなことを経験して変わらざるを得ませんでした。

ましよう、とおっしゃいました。私はその時外に出られる気持ちではなかったのでもらい、一緒に停泊中の大型船の乗組員に配っていただきました。

また、娘の同級生のお母様が訪ねて来られて、マクダニエル宣教師のお宅での聖書を学ぶ会へお誘いいただき、一冊の分厚い聖書を置いていかれました。その時、「ヨブ記」を読むことをお勧めくださいました。

それ以上に、いつも神様がそばにいて、語る言葉を与え、考えを与えて支えてくださいました。国と国との関係の中でのこともあり、困難や、極度の緊張が強いられるような経験もありました。けれども、その中にあって心が平安でいられるのは、神様の大きな愛の中に生きていること、たくさん祈りの支えがあるからにほかなりません。体も魂も疲れ果てることはありません。悲しみに泣く時もあります。でも朝、起きることができると、「あ、今朝も起きられた」と毎朝実感しています。

この夏は、暑い日が続き入院中の夫を訪ねたり、忙しく出かけたりにいる中、ふつと食べていた物が喉につまって苦しい思いをしました。胸を叩いたり、動き回ったりしているうちに喉を通ってくれたのですが、ああ、いつ何があるかわからないと心から思いました。講演会中、途中でフラッと倒れてしまうかもしれないと不安になることがありますが、そういう時、「私には力があります。神の御心と聖書の言葉をもって話させてください」と祈って、

はかしく帰ろう。主は与え、主は取られる。」（1章21節）

「主は与え、主は取られる」の言葉に打たれました。人の生も死も必然的に訪れることの意味は日ごろから考えていましたが、そこには、何か、もっと大きなものが関わっていることを感じたのです。

「あなたは神の深さを見抜くことができようか。全能者の極限を見つめることができようか。それは天よりも高い。あなたは何ができよう、それはよみよりも深い。あなたが何を知りえよう」（同11章7、8節）

の言葉も私の中にスツと入ってきました。次々に読み進むうちに、書かれた言葉の一つひとつが痛みをもった心地好さで胸に染みついて

それから壇上のそで口から出て行きます。すると、不思議なほどまっすぐ、自分の経験したことを話すことができるのです。何かかわかりませんが、これを話しながらと導かれ、口から言葉が出るのです。

中学校などでお話する機会もあります。どんなお子さんも、十三歳のめぐみに起きたことをお話しすると、とても集中して聞いてくれます。そして、自分の日常が、学校に通えていることがありたいことなのだと感じてくれています。

四十二年前のあの日、めぐみは暗い船倉に閉じ込められ、北朝鮮へ向かう間はずっと「お母さん、お母さん」と言って泣き叫び、爪が剥がれるまで壁をかきむしっていた、という話を人づてに聞きました。どれほど怖い思いをしたか、その後もどんなに辛い経験をしたか、



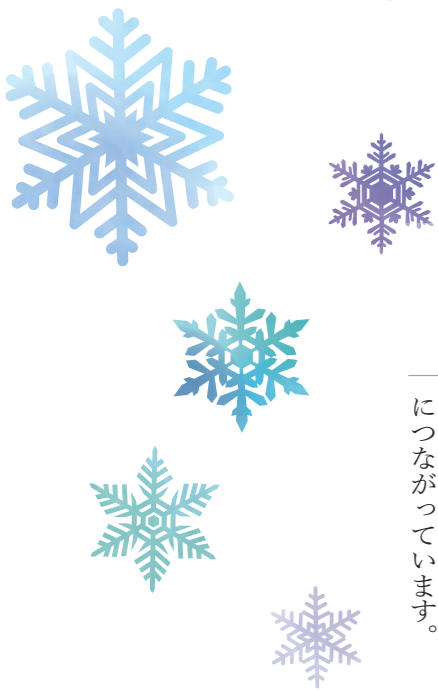
横田さんの周りにはいつも取材のカメラが構えている（横田滋・早紀江さんを囲む祈り会にて）



横田早紀江さん プロフィール
1936年京都生まれ。1962年滋さんと結婚。1964年にめぐみさんと、4年後、ふたごの男子を出産。夫の転勤で名古屋、東京、広島に住み、新潟に移った翌1977年にめぐみさんが拉致される。

そのことを思うと、個人力には限界がありますが、親としてできることを一杯させていたただけです。この夏、白内障の手術も受けました。めぐみをこの目で見る事ができる希望を失わず、その日を待ちたいと思っています。

新潟時代から祈り支えてくださっている友人たちに加え、世界十二箇所にあるブルーリボンの祈り会（横田滋・早紀江さんを囲む祈り会）は190回以上開催など三百名以上の支援者の皆様感謝しつつ、一刻も早く被害者全員の帰国が実現しますよう祈っています。



インタビュー

神様の創られた花の力はすごいんです！

ガーデンセンター さにべる 間室 照雄さん、伸子さんご夫妻

埼玉県中部の比企郡吉見町は、東部に荒川、南西部に市野川が流れる肥沃な穀倉地帯です。一面に広がる田んぼの一角に、地元だけでなく、全国から人々の訪れる「ガーデンセンター さにべる」があります。

社長の間室照雄さんと、店長の間室伸子さんは信仰熱心なクリスチャン。園芸家としてテレビや雑誌で活躍する長女の間室みどりさんをはじめ、子どもたちも教会に連なっており信仰を守っています。

今回、「さにべる」の魅力の秘密を、間室夫妻にうかがいました。



儲かる農業をめざして渡米

照雄 私は、代々この場所です。米といちごを生産する農家に生まれました。祖父が間室家に養子に入って成功させた養蚕事業の武勇伝は私の幼心に残っていたので、高校に上がるころには、農家が安定した収入を得るために何か改革しなくてはならない、と思うようになっていました。そして、生産物を加工して販売することが肝要なこと、と興味をもったのが養豚でした。豚をハムなどの商品に加工して売ればいいと。特別に学校の許可を得て放課後に車で近隣の養豚場を回って研究していました。

高校卒業後、儲かる農業のため、養豚経営の本場アメリカで学びたいと思えました。そして、先輩に紹介していただいたのが、カリフォルニア州の花の品評会で菊部門のブルーリボン賞を総なめにした、渡米間もない日本人でした。そのご夫妻はクリスチャンで、英語の勉強になるから、と日系人教会を勧めてくれました。実は、私の母は体が弱

く、小さいころからいろいろな宗教の方が訪ねて来るのを見ていました。それで、宗教は大嫌いでしたが、会社経営を考えていたので、牧師の話は社員教育にいいな、と思っていました。

毎回、牧師は聖書の教節を暗唱する宿題を出しました。いつもなんてことなく覚えていたが、ある時、マタイによる福音書六章二三節の

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい」が、あまりにも抽象的な言葉で意味がわからず、覚えられなかったのです。そういう時に限って私が指名され、恥ずかしい思いをしました。そこで、「これからもう少し真面目に聖書を読もう」と決意しました。ちょうどその日は、いつも一緒に行っていたもう一人の青年が休んでいました。すると礼拝後、年配の男の人が、革の装幀の立派な聖書をきれいに包装された箱に入れて、私に手渡ししながらこう言われたのです。

「兄弟、これをあなたにあげます。いつもこの聖書を持って教会に来ていましたが、一冊しかない。どちらから一人でも来た時に差し上げたいと思っていました。」



間室 照雄さん、伸子さんご夫妻 プロフィール

間室照雄さん・「ガーデンセンター さにべる」社長。渡米先の教会で信仰に導かれる。その教会が、「Sunnyvale」にあったことから、店の名前に用いた。太平洋放送協会 監事。間室伸子さん・「ガーデンセンター さにべる」店長。日本ハンギングバスケット協会 理事、グリーンアドバイザー・園芸ソムリエ、NPO 法人フラワーピース 副代表理事。

自然を創られた神様がおられる

伸子 私は、小さいころに近所に教会ができ、友達に誘われて日曜学校に行ったのが、信仰をもつきっかけです。中学に上がり、一度通わなくなりましたが、高校に入ったころ、昔歌った賛美歌が歌いたくなり、教会の敷居を高く感じていたので、友達に「賛美歌の本買ってきて」と頼みました。すると、そのころ教会に赴任されていた中野雄一郎牧師が「自分で来るように」と言われたそうで、私は、重い足を運んで、自分で買いに行き、それ以来教会に通うようになりました。

教会を離れていた中学時代、日曜学校のお話を思い出しながら「人はどうして生きるのか」「人は死んだらどうなるのか」というようなことに疑問をもち、友

達と語り合ったりしていました。教会に通うようになり、メッセージを聞くうちに、「自然を創られた偉大な創造主である神様」がおられることがわかってきました。この世の中は、偶然にできたものではなく、人間の力では及ばない偉大な力が働いて創られたものであるということ、自然を通して感じるようになり、罪深きと、イエス様が自分の罪の赦しのために、身代わりになって十字架に架かって死んでくださったことが、自分のものとしてわかるようになり、高橋一年の三月、イースターの時に、洗礼を受けました。それ以来ずっと教会につながっています。

苦しい中から献げた時から

照雄 短大卒業と同時に借金をして現在の土地にビニールハウスを建て、ポイラー技士の免許を取り、蒸気式のポイラーを設置しました。この辺で蒸気式を使っている農家はありません。卒業の少し前に、大川先生から、先生の姉夫妻（千代崎秀雄牧師・聖子牧師）の埼玉での開拓伝道を手伝ってくれ、と頼まれ、千代崎先生が川越市のはずれ、東武東上線霞ヶ関駅の近くに家を買って始めた教会に通うようになり、私は、牧師とご家族以外の信徒第一号です。

ある時、同じ教団の中野雄一郎先生から急に連絡があり、先生の教会の信徒を結婚相手として紹介したい、と言われました。私は事業に成功してから結婚を、と思っていたのですが、先生は私に「君はおそらく成功する。しかし、それを自分の能力のおかげと思ってしまうかもしれない。今、大変な時に彼女と結婚し、それを乗り越えたら、それは、彼女のおかげ、神様のおかげだとわかるのでは」と言

われました。自分の痛いところを突かれた感じで、結婚を決めました。何もなかったところ（借金はありましたが）からの結婚生活でした。

伸子 私は高校卒業後、七年間銀行勤めをしていたころ、中野先生から結婚のお話をいただきました。サラリーマンの家庭で育ったので、農家の生活も知らないし、虫も苦手でした。けれども、銀行の仕事は何かをつくり出すことのない世界だったので、達成感のある生活にそこが気に入りました。コンクリートに囲まれた中で育った私は、ハウスの中に来た時に、違う次元、別世界だと感じ、解放感を覚えた。こんな生活ができたならいいな、と結婚しました。

とはいえ、雨が降れば仕事は休み、晴れていれば一日中、という環境や、土は重いし重労働だし、慣れるまでは時間がかかりました。子育てもどちらかというと苦手、家事も得意とは言えず、本当に最初のうちは大変でした。それまでの毎月給料をもらう生活から一変しました。

日曜日教会に行くことが結婚の際の約束でしたので、結婚後は仕事と子育てと教会と家族の世話で明け暮れていました。

照雄 結婚したころは、私の祖母も健在で、上の娘二人は祖母に見てもらっていました。祖母に教えてもらっていたんでしよう、三歳だった長女（みどり）が、教会の集まりの時に、庭で私たちを待ちながら、花壇から雑草を見分けて抜いていたという逸話があります。見かけた方に「この子はすごい」と驚かれました（笑）。

赤字のころは大変でしたが、お米や野菜を生産していたので食べるには困らずなんとか生活できました。教会の開設当初から、私は教会の会計をしています。結婚したころの教会の経済状態は大変でした。そんな中、アメリカから帰ってきた牧師先生を中心に「総動員伝道」の働きのための献金の依頼が来ました。自分たちにお金があるわけではないので困ったなあ、と思

事が増え、生産品も良いものができるようになってきました。その後だんだん会社の赤字が解消され、献金してから五年目にはホームセンターとの契約が決まり、六年目には黒字が出たんです。これは、まぎれもなくあの献金の決断からだった、と今も確信しています。

実は、その前には第一次オイルショックの影響も受け、それまでしていた菊の周年栽培ができなくなり、借金が重なりました。叔父の勤務先のボーリング場の庭で、花の販売をさせていた。ただき順調だった矢先、今度は交通事故で一週間入院しました。その時、「元氣になったら花づくりに専念して、その利益を献げよう。自分の金もうけのためではなく、宣教のために」と一大決心をしていました。当時、花の引き売り（持参して売る）もして、収入を得ていたので、この決断は、私の信仰生活の原点です。「献げれば祝福される」というような簡単な思いではありません。苦しい中から献げてきた、その結果として、神様が私たちを支えて、祝福してくださったのだと思っています。

クリスマス・ストーリー

1番の明かり見つけた!

毎年クリスマスには、直子のおばさん、お父さん、お母さんと一緒に、東京のイルミネーションを見に行

って、だれがその冬1番の明かりを見つけたか競争していました。今年は、やっと直子も探していいことになりました。

まず、お母さん。東京タワーでした。空に届くようなタワーの足元には、美しく飾られたクリスマスツリーがありました。

みんなでツリーやタワーを照らす、明かりのショーを見て次の場所に向かいました。次は、お父さん。青いライトで飾られた渋谷の通りです。そこは、まるで洞窟のようでした。直子は、お父さんに肩車してもらって、たくさんのライトが巻き付けられて青く輝いている木の枝を見上げました。

おばさんは、恵比寿の建物の中心に飾られた、クリスタルガラスでできた、大きなシャンデリアを直子たちに見せました。みんなで、長い筒その光を見上げていて、温かく、黄金に輝く光が、あたり一杯に満ちているので、クリスマスの喜びで包み込まれている気持ちになりました。

おばさんは、「さあさあ、みなさん! 今年の勝者は、私ね!」と言いました。けれども、それに答える前に、直子が走り出し、「来て!」大声で呼びました。「ねえ、見えるよ!」ほかの3人は、顔を見合わせながら、ついて行きました。

すると、黄金に輝いていたさっきまでの場所から少し先の角を曲がったところに、小さな小さな飾りがありました。そこには、羊と羊飼いたちの人形が置かれ、たくさんの人がそれを見下ろしていました。

1本のスポットライトが、羊飼いたちの中心に当てられています。干し草で一杯の家畜小屋の真ん中に寝かされた、白い布でくるまれた赤ちゃんを温かい光が照らしていました。

けれども、じっと見ていると、その赤ちゃんから、自分たちに光が照らされているように見えてきました。その横の看板に、このようなことが書かれていました。

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき…天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日…あなたがたのために救い主がお生まれになった。…あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」(ルカによる福音書 2章 8~14節)



絵と文 リエン・ラボシエール



クリスマスリースの色には、意味があります。赤はイエス様が十字架で人間の救いのために流された血、白は神の聖さ、緑は永遠の命、です。

みなさんに喜んでいただけたら

照雄 良い商品が良い環境で届けるのが一番だと思っ

を豊かにされる時間をもたせていただいています。

「ワァーきれい」と思うように

最近水彩画も楽しみながら、お花には、とうてい人間には出せない美しさがあ

「ワァーきれい」と思うように、今、若い人のお花離れが進んでいるので、若い人にも関心をもってもらいたい

※ハンギングバスケット―壁に飾れる花の寄せ植え

この仕事には定年はないので、私も教室を通して多くの人と交流し続けたい、と思っています。教会でも

昨年12月にPBA(太平洋放送協会)制作のテレビ番組「ライフ・ライン」で放映された間室伸子さんのクリスマスリースと寄せ植えの番組が上記QRコードからご覧いただけます



な景色の写真を発信すると、「待っていました」と喜んでいただいています。細切れの時間でも、これからもそういつたことが続けられたい、と思っています。



レポート The Warm Heart of Africa アフリカの温かい心—マラウイの救世軍 寺澤 眞由子

みなさんは、マラウイ共和国がどこにあるかわかりますか？ 南アフリカ共和国から北東にむかって二つ目にある小さな国です。マラウイ湖の美しさと国民の温厚さには定評があります。けれども、世界の最貧国に数えられ(世界通貨基金の統計では、世界で三番目に貧しい国)、近年の人口増加率の高さや世界的気候変動による災害、森林伐採による環境破壊によって、人々の生活はますます厳しい状況に陥っています。

日本は、二年前より、このマラウイの救世軍と協力して活動することになりました。貧しい環境にあることから、マラウイの情報はなかなか日本で得られないため、今年八月に訪問、取材してきました。マラウイ人口の九割以上は貧困状態にあると言われ、海外資本が投じられた空港(首都のカムズカ港にはJICAの支援協力がなされています)や、企業、商業施設の近代的な建物もありますが、一般市民は、自分自身で地元の土



写真上 マラウイの街並 写真下 国境近くで児童人身取引防止活動をしている地域ボランティア

を成型して焼いたレンガで家を造って住んでいます。電気や水道が通っているところははまだ一部で、集落ごとの井戸を共有し、調理は火を起こしてなされます。燃料のための森林伐採も環境破壊を進めています。数十年前は緑が豊かだった土地は、近年の気候変動によって荒廃し、一年の中の長期にわたる乾期と、雨期の雨量の減少及びごく短期間に襲う集中豪雨が、主要産業の農業と人々の生活に打撃を与え続けています。マラウイ上空から見た、乾い



小隊(教会にあたる)の台所

た大地の広さに、環境破壊の深刻さを実感しました。けれども、人々と接して感じる心の温かさや品性は、それ以上に強い印象を私の心に残しました。「子どもたちの未来を守りたいんです。」首都から車で一時間強にあるザンビアに隣接するムチンジの国境付近で、児童人身取引防止の活動をしている地域ボランティアの言葉が忘れられません。人身取引の背景には、家族や親族が、取引業者の様々な嘘に騙され、国外に子どもを売ってしまったという現状があります。通信手段もほとんどない中で、売られた子どもがどのような生活に置かれるのか、知る由もありません。多くの子どもが、教育も受けられず、農場などで奴隷のように働かされます。働けなくなると医療も受けられず死を迎え、生

世界の救世軍 — 統計
小隊(教会)と分隊(伝道所) 14,528
社会福祉の働き
施設・デイケア 4,599
依存症回復施設 404
各種学校・幼稚園など 2,922
緊急災害支援を受けた人 703,770
(2019年救世軍年鑑より)

き延びたとしても大人になつた途端、不法滞在者としてマラウイに強制送還されることもあるということです。数カ国での転売もあり、女の子は性的な労働に従事させられます。ムチンジにある救世軍は、地域の警察、福祉局、労働局、入国管理局、法務局と連携して、児童人身取引の予防、救出、救出後の支援をおこなっています。人身取引についての集落ごとに

厳しい環境の中、マラウイの救世軍は伝道と奉仕に熱心に取り組んでいました。救世軍士官(伝道者・本紙編集人)の紹介
※動画でも紹介しています ↓QRコード



紛争の影響下にある人々への食糧支援(ナイジェリア)



刑を終えた出所者への職業支援のための洗車場を開設(ノルウェー)



雪解け水と豪雨による洪水の被災地で、食事の提供や汚泥処理をおこなった(カナダ)



社会鍋

11月30日は社会鍋の日

三脚に吊るされた鍋。救世軍の制服・帽子に赤と白のたすきを身に着けた人々が募金への協力を呼びかける声。「社会鍋」は、今から百十年前に始められ、日本における街頭募金の先駆けとなりました。

日露戦争直後、戦地から帰還したたくさんの方が職につけず、暮らして困る人たちが街にあふれていました。救世軍は、一九〇六(明治三十九)年早々から、労働紹介所、簡易食堂、木賃宿などの働きを始め、これらの人たちの救済活動に奔走。年末には、正月を迎える準備もできないような境遇にある人々のために、餅やみかん、足袋などを詰め合わせた「慰問かご」を届ける運動を始めました。救世軍の公報「ときのかえ」紙上で、慰問かごへの協力を広く求めると、全国からたくさんの金品が寄せられました。



やがて、一九〇九(明治四十二)年、慰問かごの中身を整理するための募金をする方法に切り替え、当時、アメリカでおこなわれていた募金方法「クリスマス・ケトル(スープレッポ)をぶら下げるスタイル」を日本風にアレンジし、

当時どの家庭にもあった鉄鍋をぶら下げました。それは、「貧しい人々に正月の雑煮」という趣旨がよくわかるものでした。この募金鍋はいつしか「慈善鍋」と呼ばれるようになり、やがて、一九二一年正十年に「社会鍋」と改称。その用途も多様な支援活動に広がり、「社会鍋」は、俳句の冬の季語にもなりました。



写真上より 通年でおこなわれている月1回の街頭生活者への支援(週3回)、食事と日用品を提供している(東京地区) 地域の作業所なども支援している(福岡県北九州市)

「特別賞」 抱っこ紐のイクメン。パパも社会鍋 東京都・かくや姫 老婦人畳んで入れる社会鍋 静岡県・中津川勝雄 「ほのほの賞」 コスプレの子ら囲みたる社会鍋 静岡県・高田三江子 教科書の話にしたい社会鍋 千葉県・ひかるちゃん

「社会福祉部賞」 ぼくだってするよと孫も社会鍋 愛知県・フーマー 社会鍋帽子の下のやさしき目 愛媛県・砂山恵子 数百食作るカレーの社会鍋 千葉県・高橋和子 昔あり今も銀座の社会鍋 埼玉県・渡邊紀夫 慈善鍋今はネットで受け付ける 東京都・佐藤たけし

第四回救世軍社会鍋俳句コンテスト

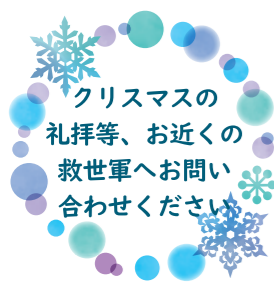
12月10日(火)募集スタート

募集内容: 社会鍋を題材にした未発表作品 提出物: 一人二句まで 応募方法: ●応募用紙を郵便あるいはファックスで送付 ※応募用紙を左記主催者へご請求ください ●救世軍ホームページ「応募フォーム」から 応募資格: 不問 費用: なし 締め切り: 二〇二〇年三月三十一日(火)(消印有効) 賞: 優秀賞一句、特別賞二句、ほのほの賞三句他 結果発表: 『ときのかえ』六月一日号紙上、公式ホームページ 著者権: 唐澤南海子(現代俳句協会会員・岳) 同人・信濃野教会員 主催: 催: 〒101-0061 東京都千代田区神田神保町二ノ十七 救世軍本営「救世軍社会鍋俳句コンテスト」係 TEL: 〇三三三三七〇八八一 FAX: 〇三三三三七〇三五八八



第三回救世軍社会鍋俳句コンテストには、全国各地から四百六句寄せられました。選者三浦喜代子氏による厳正なる選考の結果、左記の方々の句が入賞いたしました。写真は、授賞式に参加できた受賞者(中央三人と三浦氏(左から二人目))





小隊（教会にあたる）・社会福祉施設・病院・その他施設

北海道連隊（地区）

本部 札幌市北区北 22 条西 5 丁目 1 - 5 TEL 011-788-5352
 遠軽小隊 0158-42-3409 札幌小隊 011-788-5352
 釧路分隊 0154-25-5367 函館小隊 0138-22-8851
 帯広小隊 0155-23-4877
 札幌市しせいかん保育園 011-204-9560
 桑園保育所 北海道札幌市 011-221-6630
 菊水上町保育園 北海道札幌市 011-821-2879

関東東北連隊（地区）

本部 高崎市寄合町 5 TEL 027-323-1337
 桐生小隊 0277-45-3117 仙台小隊 022-273-2368
 前橋小隊 027-231-9533 若松小隊 0242-28-9795
 高崎小隊 027-323-1337 新潟小隊 025-229-2003
 佐野小隊 0283-21-5939 浪江小隊 027-323-1337
 熊谷小隊 048-522-2477 (震災被害のため現在休止中)
 長野分隊 027-323-1337 佐野保育園 栃木県佐野市 0283-22-4081
 (併設：学童保育「佐野こどもクラブ」)



福島県浪江町の浪江小隊で、8年ぶりに礼拝を守った

西日本連隊（地区）

本部 大阪市北区天神橋 3 - 6 - 20 TEL 06-6351-0084
 京都小隊 075-343-3726 呉小隊 0823-25-4794
 天満小隊 06-6358-6679 高松小隊 087-851-0752
 泉尾小隊 06-6551-9187 高知小隊 088-822-0365
 西成小隊 06-6661-3590 八幡小隊 093-652-1584
 神戸小隊 078-341-4594 福岡小隊 092-531-7418
 岡山小隊 086-227-9029 鶴橋分隊、塚本分隊、
 福山小隊 084-926-3151 丹後分隊、大牟田分隊
 広島小隊 082-262-3776 大津分隊

児童養護施設

希望館 大阪府
 愛光園(併設：児童家庭支援センター「明日葉」) 広島県
 豊浜学寮 広島県
 呉保育所 広島県呉市 0823-21-4711
 大阪アベノ地下街救世軍カウンセリング・ルーム
 06-6773-2956



岡山小隊の会館は、旧会館の斜め向かいに移転し、新築された

東京東海連隊（地区）

本部 東京都墨田区太平 4 - 11 - 3 TEL 03-6261-5701
 上野小隊 03-3873-5386
 大森小隊 03-6272-9771
 川口小隊 048-267-9799
 神田小隊 03-3263-0848
 京橋小隊 03-3551-0337
 清瀬小隊 042-491-7600
 江東小隊 03-6261-5702
 渋谷小隊 03-6261-2447
 杉並小隊 03-6256-8191
 月島小隊 03-5860-2994
 西新井小隊 03-3889-3894
 横浜小隊 045-714-6060
 横須賀分隊 045-714-6060
 静清小隊 054-365-8270
 浜松小隊 053-452-6717
 名古屋小隊 052-935-7875

児童養護施設

機恵子寮、世光寮 東京都

婦人保護施設

婦人寮、新生寮 東京都

男子宿泊施設

新光館 東京都

アルコール依存症者支援施設

自省館(救護施設)
 東京都清瀬市 042-493-5374
 男子社会奉仕センター
 東京都杉並区 03-5860-2992
 ■救世軍バザー場
 東京都杉並区 03-5860-2992
 オープン 毎週土曜日 9～13時半
 中野富士見町(東京メトロ丸の内線)
 より徒歩10分
 ■救世軍バザー場・江東出張所
 東京都墨田区 03-6261-5704
 オープン 毎週土曜日 10～15時
 錦糸町(東京メトロ半蔵門線/JR)
 より徒歩10分
 ○両施設共寄贈品受付のお問合せは
 03-5860-2992 まで

山室軍平記念救世軍資料館

〒166-0012 東京都杉並区和田 2 - 21 - 39 TEL 03-6256-8194
 日本における救世軍の資料や、山室軍平に関する文書、資料を所蔵。祝祭日を除く毎土曜に開館(10時～16時)しています。(ただし、指定参観希望日があれば、週日も受け付けいたします。)



救世軍とは？ What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man



救世軍は、英国ロンドンに国際本部を置く、世界 131 の国と地域で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師であったウィリアム・ブースによって始められ、家のない人々、仕事に就けない人々、アルコールの悪影響下にある人々、搾取される女性や顧みられない子どもたちに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えました。やがて、これらの働きを効率よく進めるため、軍隊流の組織を取り入れ、「The Salvation Army (救いの軍隊・邦訳は救世軍)」と名づけました。制服・制帽も制定され、信徒は禁酒を誓い、アルコール依存症に苦しむ人々の回復支援にも積極的に力を注ぎました。
 救世軍は、世界の各地で人々のニーズに応え、様々な社会福祉施設、病院、学校などをつくりました。また、国際的な協力体制のもと、災害被災者支援や内戦などによる難民の支援、開発途上国における教育・医療・農業指導などの自立支援をおこなっています。さらに、人身取引反対のオピニオンリーダーとして、国際社会で積極的に情報を発信。被害者支援や社会復帰の手助けをしています。



ウィリアム・ブース来日(1907年)



日本での働きは、1895(明治28)年に始まり、伝道拠点の小隊(教会にあたる)を開設。廃娯運動、失業者対策、病院や結核療養所の設立、児童や女性の保護、アルコール依存症者回復支援など、時代に先駆けて様々な働きを興してきました。
 日本人で最初に救世軍士官(伝道者)となったのは、山室軍平です。山室は、だれにでもわかりやすい説教と著書で、一般大衆にキリスト教を広めました。現在は、小隊と分隊(伝道所にあたる)、2つの病院(ホスピス併設)、各地の社会福祉施設を通して、働きを進めています。救世軍は、初期の頃からブラスバンド(英国式管バンド)を多用してきました。屋内屋外を問わずに伝道する救世軍にふさわしいものとして世界各地で用いられています。今年、クリスマスを前にして、ニュージーランドのウエリントンから、救世軍のブラスバンドが来日、各地でコンサートを開催いたします。(写真下 11月30日～12月9日仙台・北海道・東京にて)

救世軍士官学校

〒166-0012 東京都杉並区和田 1 - 40 - 17 TEL 03-6256-8262
 救世軍士官(伝道者)を養成する学校です。全寮制で、2年間の学びがなされます。現在3人の士官候補生が学びと訓練を受けています。12月10日(火)、いよいよ新校舎が竣工!

救世軍ブース記念病院

〒166-0012 東京都杉並区和田 1 - 40 - 5 TEL 03-3381-7236(代)
<https://boothhp.salvationarmy.or.jp>
 <診療科目> 内科、消化器内科(内視鏡)、循環器内科、神経内科、精神科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、ホスピス外来、漢方内科、各種健康診断、199床
 (療養病棟147床、一般病棟32床、緩和ケア病棟(ホスピス)20床) (入院随時)
 (財)日本医療機能評価機構認定病院。どなたでもご利用いただけます

老人保健施設・ブース記念老人保健施設 グレイス

東京都杉並区 03-3380-1248
 (併設：ブース記念ケアマネジメントセンター和田、ブース記念訪問介護ステーションルツ・ナオミ)

特別養護老人ホーム・恵みの家(ユニットケア型)

東京都杉並区 03-3381-7243

救世軍清瀬病院

〒204-0023 東京都清瀬市竹丘 1 - 17 - 9 TEL 042-491-1411(代)
<http://kiyosehp.salvationarmy.or.jp>
 <診療科目> 内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、142床(療養病棟117床[うち介護保険病棟43床]、緩和ケア病棟(ホスピス)25床) (入院随時)
 (併設：院内保育所「救世軍きよせ保育園」)
 (財)日本医療機能評価機構認定病院。どなたでもご利用いただけます

特別養護老人ホーム・恵泉ホーム

東京都清瀬市 042-493-5161
 ケアハウス いずみ(恵泉ホーム併設) 042-496-7575
 (併設：ホームヘルプステーションいずみ)



救世軍サポート会のご案内

救世軍の働きを支えていただけませんか?
 年会費 個人会員 3,000円
 (一円) 団体・法人会員 10,000円
 ☆入会方法等詳細は、救世軍ホームページをご覧ください。(「救世軍サポート会ニュースレターNo.3」もご覧ください)
 ☆お問い合わせは、救世軍本営「救世軍サポート会事務局」TEL 03-3237-0881

「ときのかえ」購読を申し込みます。
 1,140円(郵送料、毎号送付の場合1,460円。毎月送付の場合1,060円)

私の近くの救世軍を紹介してください。
 キリスト教についてもっと知りたいです。

ご住所 〒
 ご氏名

発行日及び定価
 福音版・毎月一日発行
 広報版・奇数月十五日発行(除く七月)
 ▼定価(税込)
 福音版一部 一〇〇円
 広報版一部 一〇〇円
 クリスマス特集号(全二冊) 二〇〇円
 年次報告(七月発行)一部一〇〇円
 振替：〇〇一八〇一五〇四四〇〇

発行所 救世軍本営
 〒101-0051 東京都千代田区
 神田神保町二丁目十七番一
 寺澤 眞由子
 代表者ケネス・メイナ
 印刷人 救世軍
 印刷所 救世軍本営
 〒101-0051 東京都千代田区
 神田神保町二丁目十七番一
 寺澤 眞由子
 電話 救世軍本営
 東京(03)三三七〇八八二
 救世軍本営
 ピーアンドエス

社会鍋(街頭募金)への 皆様のご協力をご感謝いたします



横浜小隊では、冬の間、街頭生活の方々への給食活動をおこなっています。



台風15号で被災した千葉県で、数回にわたって給食支援活動をおこないました。毎回、旬のものを用い、手作りの食事を用意しました。



東日本大震災以来、毎年クリスマスに訪問しています。
(岩手県大船渡市 就労継続支援B型施設「かたつむり」2018年12月)

社会鍋への寄付金は、救世軍がおこなう、国内外の災害被災者や街頭生活者への救援及び支援活動、また、母子家庭、ひとり暮らしの高齢者、病院、各施設などへの様々な支援活動に用いられています。



台風19号で被災した中で、特に2箇所の地域での支援がおこなわれました。

・救世軍の佐野保育園(栃木県佐野市)の関係者が住む地域周辺への支援をおこないました。被災直後には日用品を提供し、その後、数回にわたって泥出しなどの復旧作業にあたりました。(写真上)

・多摩川に隣接する川崎市高津区では、被災した特別養護老人ホーム「みやうち」を支援した後、近隣地域を一軒一軒訪ねながら、タオルやゴミ袋、アルコール消毒剤などを提供しました。(写真左)



謹んで被災された方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い心の平安の回復と被災地の復興をお祈り申し上げます。

東日本大震災復興支援活動も継続しています。